

読書について

法学研究科長 西 井 龍 生

新聞や雑誌に、最近読んだ本とか、近頃感銘を受けた三冊の本などと題した短かい文章が載っているのをよく見かける。自分の知っている人であろうと知らない人であろうと、そこにあげられている書名を見ているとなかなかおもしろい。そこには稀に同一の書籍があげられていることがあるが、多くの場合は複雑多岐な変化がうかがえる。実に人それぞれその関心の対象が区々であることに驚く。そこにあげられた本の内容は分らなくとも、ある人がそういう方面に関心を抱いているということが分るだけでも興味深い。場合によっては、その人がこういう方面に関心を寄せていることを知って意外に思うこともある。

しかし、何よりも我意を得たりという感じになるのは、かつて自分が読んで感心したり、感銘を受けた書物が他の人によってあげられているのを見たときである。俄にその人が身近に思える。勿論同じ書物に関心を寄せているからといって、その傾倒の度合、内容はそれぞれ異なるであろう。それでも、自分がかつて(時には最近)読んで、単に興味深いということ以上の関心を寄せたものが、他の人によって、印象深く受け取められていることが親近感の原因であろう。同様に、好きな画家だとか音楽家とかが自分とたまたま一致した人に対しては、自分とどこか相通ずるところを持っているのではないかという親しみを抱くということはよく経験するところである。

ある人がどういう書物をよいと思ひ、どんな絵

画や音楽を好きかということ、その人の人格のかなり重要な部分とかかわりがあるのではないかと思う。随分新しく見える人がクラシック音楽のファンであったり、かなり年輩の人で新しい音楽が好きだという人があり、同様のことは絵画についてもいえる。初め奇異に感ずる結びつきも、見ていると何となくなるほどと納得されてくる。書物の場合も同様である。時にある人とその人の関心をもつ本との結びつきに何か唐突な感じを抱かせられることがあっても、意外に突飛なことではなく、かえってそのうちにいかにも似つかわしく見えてくることがある。

ある人がどういう本を手に取り、どのような書物をおもしろいと思ひ、いかなる書籍に感銘を受けるかは、その人の生き方や、その人の人柄の根幹にかかわることのように思えてならない。最近の若い人は余り本を読まない(写真や絵を見るばかり)とよくいわれる。この氾濫する活字文化の時代に、何でも彼でも読もうとしてもできもしないし、またそんなことはすべきでもあるまい。旺盛な好奇心をもって多方面に関心を抱きつつ、しかも数多くの活字の波の中から自分に合ったすばらしい宝を見つけ出し、人生や世界についての限らない知恵を汲みとってゆくことを心がけてほしいと思う。本を読むだけで考えなければ駄目だと昔の人は知っているが、同時に考えるだけで書を読まなければ道を誤ると教えているのである。

法学部教授(民法)

社会人と読書

公認会計士 青野 弘

学生時代の自由な時間に比べると、社会人にとって読書ができる時間は非常に少ない。私自身、働きながらの受験生活を体験したが、仕事に時間をとられるうえ、商売柄出張も多く、酒・麻雀の誘いもあって、時間の制約の厳しさを痛感した次第である。

しかしながら、社会人として、自分の仕事に関する専門的知識や一般教養を身につける事は、言うまでもなくどうしても必要なのである。

まず、自分の仕事に関する基礎的な知識を身につけなければならない。もちろん、大学の授業で相当身につけているはずだが、実際実務についてみると、現実この乖離に戸惑うことと思う。しかし、大学で得た知識はいわば土台であって、これに情報と体験を加えてはじめて仕事が理解できるのである。

情報化社会の現代、新聞雑誌等縦横に膨大な量の情報が流れている。実務では情報をいかに速く正確にとらえ、自分の仕事に活かすかが重要な事も多い。このような情報の収集、分類、取捨選択に際して基礎的な知識を大きな枠組として持っている事が必要である。

また、社内研修やOJT (On the Job Training) 教育によって、専門的な教育がなされるが、これとて基礎的知識を前提としている。また、体験による学習の範囲は限られており、少ない経験を演繹的に活用するには、幅広い基礎知識が重要となってくるのである。

なお、社会人にとって武器となるものは、

極論すれば法律しかない。法律は、どのような方面へ進んでも強力な武器となるものである。少なくとも自分の仕事に関係する法律は極力早期にマスターしておいた方がよいと思う。営業マンなら民法、商法、手形小切手法等の知識が必要だろうし、経理マンには税法という難物がある。人事総務ならば社会保険、労働法関係や源泉税、保険の知識等が必要となる。法学部の友人等により基本書や勉強の方法等を聞くのも一法だろう。

次に、社会人として、一般教養を身につける事も忘れてはならない。日常の会話、文書等自分の人柄が最も早く相手に伝わりところで重要な意味をもってくる。ただ、これは短期間で身につくものではなく、普段から種々の読書によって培われるものである。

このように、社会人になれば相当量の書物を読む必要があるのに、前述の如く時間は非常に少ないのである。特に入社後1～2年は自分の仕事を覚えるのに精一杯であろう。かく言う私もなかなか本を読みきれないでいる。ただ、資格試験を自己啓発の一環として利用する事も一つのモチベーションとしておもしろいのではなからうか。

ともあれ、社会人にとって、時間と健康を管理する事が最も難しく、最も重要な事である。健康に自信のある20代の間に、基礎的知識をせいぜい貯えることに当面の目標をおいている次第である。

(昭和50年商学部卒業)

文学部・英文科4年 笠江成子

窓辺のこの席にすわるようになったのは何時からだろう。緑の衣をつけていた背振山が気がついてみると白い衣をまもっていた。あれから一年が過ぎたのだと今更ながら時の流れの早さに驚いている。

大学で居心地の良い場所はその人によって違うでしょう。ある人は部室、ある人は組織の活動室、ある人はグラウンドといった具合に。私が最終的に見つけたのは図書館の四階でした。図書館と言うと偏見が起こるかも知れないけれども、ここは唯勉強をするだけの所ではありません。知識を得ることはもちろん、いわゆる「常連」と呼ばれる名前も知らず話さえもしたことの無い仲間の、机に向って獅子奮迅の姿は怠慢になりかけている心を叱咤してもくれ、何よりも私のお気に入り、窓に広がる背振山を背景にした町の眺めです。疲れた時、あるいは目的を見失い暗然としている時

など頭を上げて、窓枠を越えて広がる景色を眺めると疲れも癒され、不思議と気も安まって来るのです。この席にすわった多くの先輩達もそうであったように、堂々と聳える背振山を眺めれば、私もあれこれ思いめぐらしたものです。こんな風に、図書館には目先を変えれば色々な事が転がっています。

図書館にやって来る「常連」達は各々の目的を持ってきます。司法書士をめざす人、会計士をめざす人、教職をめざす人と様々です。目的を達成するために机に向い、必ず合格する保証はないけれど必死に努力している彼等の姿は、背振山に劣らず立派な眺めです。

この一年間で私が図書館で得たものは本からの知識だけでなく、「常連」達の姿から得た忍耐と堅固な意志力でした。躓きがちだった私も、机に向っている皆の姿に励まされて最後までやってきました。いつしか四季が過ぎ、卒業式を残すのみとなりましたが、図書館での思い出は過ぎることなく、卒業しても私の支えとなることでしょう。

図書館の思い出

商学部・商学科4年 坂元隆志

私は、ふと思いついた時に気まぐれに図書館へ行った。それもわざと人気の少ない時間を選んでふらりとやって来た。そしてたまにしか来ないのに読書や勉強に勤しむどころか、のらくらとうたた寝ばかりしていたように思う。傍目からは惰眠をむさぼっているか、目を覚醒していても焦点の定まらない目でぼんやりと宙を見ているように映ったことだろう。

こんな私だが西南の図書館だけが持つ独特の雰囲気が好きだった。利用する学生が、職員の方々が、書架に並べられた図書が、或は建物が一体となって醸し出す雰囲気は不思議な魅力を持っていた。裸電球のほのかな明りを求めて集ってくる蛾のように、この雰囲気を求めて足を運んだのは私だけではあるまい。それは捕えたら放さない魔力ともいうべき暖かさに満ちた魅力だった。

日が落ちキャンパスが暗闇の中に沈む頃、図書

館からこぼれる煌々とした窓明りを遠くに見つけた時、一種の安堵感を覚えたことを思い出す。幼い頃迷子になって母親をようやく見つけた時の心境に似ていた。私が図書館へ頻繁でないにしろ、足を運んだのも今思えばこの安堵感に浸りながら、とりとめの無い思索にふける為だったのかもしれない。

「大学生は子供のように幼くもないし、大人のように定まった思想や生活を持っているわけでもない。性格が形成されてなおかたまらない難物である。」といった作家がいた。多くの可能性を持ちながら、少々の実力しか持たない学生がその生活から絶え間なく生じてくる疑問や焦躁を冷静に見つめ直す場を与えてくれたのは図書館だった。暖かさに満ちた厳粛な雰囲気が、解答の無い疑問に悩む私に、優しく語りかけてくれたような気がしたのは単なる錯覚だったのだろうか。図書館とは或る意味で、学生という血液が循環して生き続ける生命体なのかもしれない。

レファレンス事例(5)

参考係

最近利用者から寄せられた参考質問のうちから、2・3の事例を紹介して、他の利用者の参考に供したい。

〔質問1〕 Harvard 大学の Haskett, J.L. 教授の所属する学部を知りたい。

回答例： 「World of Learning 1980—81」によれば、Graduate School of Business Administration となっている。

〔質問2〕 参考文献に、J.C. Hause, "The Theory of Welfare Cost Measurement," J. Polit. Econ., Dec. 1975, 83, 1145—82. とあったが、この論文の執筆者 J. C. Hauseの現在の所属大学を知りたい。

回答例： アメリカの学者の略歴を調査する時の基本的ツールである、「American Men and Women of Science, 14th ed.」(R.R. Bowker, 1979) によれば、Dept. of Economics, Univ. of Minnesota となっている。

〔質問3〕 「關雅管見録」の読みと、その所蔵先を知りたい。

回答例： 利用者より明治以前の出版物であろう、ということだったので、国初より江戸時代までの出版物の調査に用いる、「国書総目録」全8巻(岩波書店、昭45)によると、読みはへきじゃかんけんろくで、所蔵は国会、九大他数館に所蔵していることがわかる。発行は文久元年(1861年)であった。この国書総目録には、資料の読みをひらがなで付けている。

〔質問4〕 韓国の大統領の職務権限、被選挙権について知りたい。

回答例： いろんなものに出ているようだが、「韓国主要法令集」(ぎょうせい、昭54)の中の大韓民国憲法、第4章大統領の項に、憲法に定められている大統領に関する記述がある。

〔質問5〕 夏目漱石、森鷗外に関する英文の研究書が何かあるだろうか。

回答例： 網羅的に収集しているものに、「Studies in Japanese Literature and Language ; A Bibliography of English Materials」(日本文学・語学研究英語文献要覧)「20世紀文献要覧大系 8」(日外アソシエーツ、昭54)が役立つ。これはカリフォルニア大学バークレー校の大学図書館の所蔵を中心に収集したもので、研究論文、研究書を中心に集めている。

〔質問6〕 戦後昭21年～25年頃までの雑誌の内容目次を見たいのだが。

回答例： 特定の一誌だけの目次でなく、その時代の雑誌の目次を包括的に調べる場合は、「戦後雑誌目次総覧」上・下(東京大学社会科学研究所戦後改革研究会、昭51)が有用である。昭20年8月から25年までの間に発行された政治、法律、経済、社会、思想等、社会科学に関する雑誌および総合雑誌を対象としている。

幕末・明治時代のものに、「幕末・明治研究雑誌目次集覧」(日本古書通信社、昭43)がある。

〔質問7〕 昭52年12月27日福岡地裁で判決のあった福岡県教組教職員懲戒事件の判例の要旨、批評、解説の載った資料を全て集めたい。

回答例： 裁判年月日、言渡裁判所、事件名がわかっていて、内容が労働関係の民事に関わる事件であるということをつかんで、「労働関係民事裁判例集」28巻の索引(昭52年度)の裁判月日別索引で見ると次のとおり登載資料がでている。

言渡月日 裁判種類	裁判所 事件番号	事件名	登載資料 (判例批評・解説)	掲載頁
12. 27決	大阪地 52(宣)5699	大照金属違法行為差止	労判速974号18頁	114
12. 27判	福岡地 50(宣)2	福岡県教組教職員懲戒	訟務月報24巻1号121頁、判時877号17頁、判タ357号196頁、ひろば31巻3号37頁、労法旬945号70頁 永田一郎・判評235号40頁 森田明・ジュリ662号88頁 緒貫芳源・ひろば31巻3号29頁 浦野東洋一・労法旬948号26頁	89



外国図書館シリーズ

— アメリカ —

中央図書館の玄関に入って、再度、小さなゲートを通ります。ロビーがあり、その向うに貸出しカウンターがあります。このフロアの上が、9層から成る開架式書庫になっています。ロビーを通して右側の建物に入ると、まず左手にレファレンス係があり、右手に検索用のカード・ボックスが並んでいます。レファレンス係の裏手のフロアに、レファレンス資料が配架されています。

奥に入っていきますと、インター・ユニバーシティのカウンターがあり、他大学の図書の借出やコピーの事務をやってもらえます。この建物の地階には未製本の雑誌と新聞があり、2階には政府発行の印刷物が収集、配架されています。

中央ロビーにもどって、左の建物に行きますと、各教授のリザーブ図書が配架されており、大学院の学生の所には、その他に講義で引用する論文のコピーが、そなえられています。地階にはラウンジと食堂があります。ピリヤードがあるのには驚かされます。

申し遅れましたが、私は米国ノース・カロライナ州の州都ラーレイにある州立大学(NCSU)の経済学部で現在滞在しています。ノース・カロライナ州は、日本では知られていませんが、ワシントンD.C.より南へ車で4時間ばかりの所に位置する南部の小さな州で、全米産のたばこの葉の1/2を生産する農業州であり、工業では繊維産業が大きな比重を占めています。

ラーレイより北へ約20マイルのところにはドラムという町があり、アメリカ煙草会社の工場と、デューク財団の設立したデューク大学があります。これより南西へ約10マイル(ラーレイより約20マイル)のところにはチャペル・ヒルという小さな大学町があり、ここにノース・カロ

ノース・カロライナ州立大学図書館

NORTH CAROLINA STATE UNIVERSITY (NCSU)

Department of Economics and Business

Box 5368 Zip 27650

経済学部教授 新谷正彦

ライナ大学(UNC)があります。これら3つの町が三角形を形作っており、三角地域とよばれています。その中心に、トライアングル・リサーチ・パークと名付けられた広大な土地に、国・州および企業の種々の研究設備・機関が立地しています。そして、3つの大学が連合体を作り、種々の交流、運用を行なっています。

米国のいずれの大学でも、ほぼ共通することですが、NCSUの中央図書館より日本の図書館に、導入出来れば便利だと感じられる設備・制度がたくさんあります。

第1に図書はほとんどすべて開架式で、自分の本、ザック、バッグその他何を持ち込んでもよいという点です。これは出入口にある、小さなゲートの恩恵によります。

Electronic Exit-Control

Systemとよばれ、蔵書に帯磁させてあり、借出時に、貸出カウンターで磁気を解除してもらって、ゲートを通り来るわけです。もし無断で蔵書を持ち出そうとすると、ゲ



中央図書館 スケッチは筆者による

ートが感知して、通過出来ないわけです。人を信用するより機械を信用する合理性を垣間見る好例ですが、時に磁気の解除が不完全でゲートを通り出来ず、カウンターでザックの中身をぶちまけて、正当性を説明している光景に出会ったことがあります。

第2の点は、NCSU、UNC、デュークの3大学間で図書の相互貸出をおこなっており、1日待てば、自分の大学で他の大学の図書を借り出すことが出来る点です。どうしても、その日に借りなければ、自分で出かけて行って、借り出すことが出来ます。日本のある大学で、私が図書の閲覧を拒否された、にがい経験と較べると、日本人の狭量さを恥じる次第です。

第3の点は開館時間が深夜の1時まで及び、その利用

頻度の高さです。これは夜9時頃に閲覧用の机を見い出すのが困難であることによって証明されます。この理由は多くの蔵書を有し、図書館サービスがゆきとどいていくことによるためであり、また大学の教育方法の違いによると思われます。

第4の点は、図書館が文化活動をおこなっている点で

す。例えば、先日T.W. シュルツ (昨年のノーベル賞受賞者：経済) を招いて講義がありました。彼が来る前、1ヶ月間彼の著書および受賞時のニュース等が展示されていました。この他にも、便利な点はコンピュータによる検索等枚挙にいとまがありません。 (経済統計論)

(筆者は昨年9月から留学中)

☆ ニュース・お知らせ ☆

〈図書館委員会〉

- 55.11.20 1. 昭和56年度図書館予算の請求について
2. その他

〈研修・出張〉

- 55年度私大図書館協会西地区部会
(55.10.24 於：中部工業大学) 品川司書補出席
- 55年度全国図書館大会
(55.10.30~11.1 於：鹿児島市) 刀根司書長
倉光係長出席
- 第12回 (55年度) 国連寄託図書館会議
(55.11.2, 3 於：広島大学) 今永課長補佐出席
- 55年度大学図書館職員講習会
(55.11.17~20 於：京都大学) 荒川司書出席
- 55年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会
第2回福岡地区研究会
(55.12.2 於：福岡女子短大) 杉本、今永両課
長補佐出席
第3回福岡地区研究会
(56.1.27 於：福岡女子短大) 荒川、渡辺両司
書出席
- 専門図書館九州地区協議会
第11回資料研修会
(56.1.27 於：九州経済調査協会) 今永課長補
佐出席

〈大学院経済学研究科経済学専攻修士課程増設申請に係る文部省大学局による実地視察〉

上記大学院増設申請に関して、56年2月17日に視察委員による、これにかかわる図書の実地視察をうけた。またこれに先立ち、上記申請のための図書および学術雑誌目録を作成し、文部省に提出した。(55.11.27)

〈第2回EDCセミナー開催準備打合せ〉

今年の5月21~22日、上記セミナーが本学に於いて開催される。その準備打合せのため、3月9日駐日EC委員会より2名の方が来館された。

告知板

○春休み中の開館予定

2月7日(土)~4月10日(金)の春休み中も、次の場合を除き平常通り9時~21時まで開館します。但し、学習室は閉室します。

2月10日(火)~2月14日(土)は入学試験のため閉館。

3月10日(火)~3月17日(火)は在庫調査のため2階以上の閲覧室を閉室し、学習室(1階)のみ開室します。なお貸出図書の返却は受けません。

○春休み長期貸出

1月28日(水)~4月22日(水)

(但し、卒業予定者は2月末日まで)

対象および冊数	学部学生	} 5冊以内
	専攻科生	
	留学生別科生	10冊以内
	大学院生	20冊以内

○卒業後の図書館利用の手続き

本学卒業生は、社会に出てからも職務上の研究・調査など、あるいは自己の教養・知識向上のため本学図書館を利用することができます。利用希望者は特別利用者規則に従ってご利用ください。特別利用者証発行については、次のものを提出しなければなりません。

- | | |
|------------------|------|
| ① 特別利用許可願 (本館備付) | 1通 |
| ② 卒業証明書 | 1通 |
| ③ 証明書用写真 (3×4cm) | 1葉 |
| ④ 印鑑 | |
| ⑤ 手続料金 (1カ月) | 100円 |

※入館、貸出手続きは在学中と変わりませんが、貸出冊数および期間は年間(休暇を含め)を通じて3冊、11日以内です。

昭和55年1月～昭和55年12月（アルファベット順）

I. 和漢書類

- 安部 繁氏より
 唯物論者の宗教
 愛知学院大学より
 戦後米国における生産性の趨勢 1948～1969
 愛知県経済研究所より
 愛知県産業連関モデル開発調査報告書 昭和55年
 愛知県勤労会館より
 労働関係文献索引 1979年版 他3冊
 相原六五郎遺稿刊行委員会より
 エネルギーと経済
 赤坂印刷より
 福岡県教育百年史 第7巻
 秋山晴夫中央大学教授退職記念論文集編集委員会より
 秋山晴夫中央大学教授退職記念論文集
 青山 玄氏より
 名古屋キリシタン文化研究会会報 第1巻
 青山学院より
 真鍋頼一先生の生涯 他2冊
 新木 節氏より
 一本の薔薇
 (故) 荒木総長顯彰会より
 天體力学 他3冊
 亜東関係協会より
 北京私書箱一号 他1冊
 オーストラリア大使館より
 豪日 関係 2部 他3冊
 梅花女子大学より
 開学十五周年記念論文集
 防衛庁より
 日本の防衛 昭和55年
 カナダ大使館より
 カナダ関係邦語文献目録
 千葉県より
 千葉県統計年鑑 昭和54年 他1冊
 筑紫野市より
 筑紫野市文化財調査報告書 第2～4集 他1冊
 貯蓄増強中央委員会より
 貯蓄に関する世論調査 昭和55年版 他4冊
 朝鮮国立中央図書館より
 現代朝鮮史
 中小企業調査協会より
 特定新規サービス業実態調査報告書 他1冊
 大学婦人協会より
 国際大学婦人連盟太平洋地域セミナー
 よりよき明日に向けて
 大学基準協会より
 大学一覽 昭和54年度
 大学入試センターより
 大学入試センター年報 昭和53年度
 大東文化大学より
 日本社会経済論
 大和証券より
 日本証券関係文献目録
 「栄光への道」刊行会より
 説教集 栄光への道
 エスター B. ロース記念出版委員会より
 一クェーカーの足跡
 藤女子短期大学・藤女子大学より
 藤女子短期大学30年・藤女子大学20年記念誌
 藤波孝生氏より
 神路山
 福本保信氏より
 米墨戦争
 福岡アサ会より
 地の塩 世の光
 福岡県より
 福岡県統計年鑑 昭和52年 他23冊
 福岡県文化会館より
 福岡県歴史資料調査報告書 4～10
 福岡国税局より
 税務統計から見た民間給与の実態 昭和53年分
 福岡市より
 福岡市統計書 昭和54年版 他9冊
 福岡通商産業局より
 昭和45年地域産業連関表 九州 他4冊
 福岡ユネスコ協会より
 FUKUOKA UNESCO 第15号 2部

- 福山重一博士古稀記念論文集編集委員会より
福山重一博士古稀記念論文集
- 古川卓萬氏より
第18回地方自治研究全国集会報告書集 第1分冊第2分冊
- 外務省より
海外在留邦人数調査統計 昭和55年 他5冊
- 学習院より
学習院学術研究叢書 7
- 現代文化協会より
現代文化 3
- 行政管理庁より
諸外国における統計の制度と運営 その7 他1冊
- 羽場睦子氏より
詩歌集 北の海
- 花田英司氏より
天国の光の下に 他2冊
- 原田三喜雄氏より
地域統計要覧 昭和54年版
- 橋本静子氏より
両の乳房を目にして
- 広島修道大学より
アメリカ労使関係研究 他10冊
- 一橋大学より
労働と国家
- 北海道より
北海道統計書 昭和55年
- 北海道大学より
ボリス スヴァーリン コレクション目録
- 法務図書館より
法典調査会 民法議事速記録 7 他1冊
- 法政大学より
自治体行政と公務労働
- 放送文化基金より
幼少年期とテレビ 他4冊
- 茨城キリスト教短期大学より
創立30周年記念誌
- 市邨学園大学より
市邨学園大学開学記念論集
- 井田雄平氏より
わが国海外投資のあり方 他3冊
- 衣服研究振興会より
繊維・衣服関連文献目録
- 今井 威氏より
議院内閣制の研究 他1冊
- 石川鉄弥氏より
プラスチック構造材料 他70冊
- イスラミック センターより
イスラム法への招待
- イスクラ産業より
巢立ちゆく試練
- 伊藤通明氏より
白桃
- 泉 卓二氏より
アメリカ労務管理史論
- 神社新報社より
みやびと覇権
- 自由民主党より
充実への挑戦 昭和55年版 他6冊
- 住宅金融公庫より
住宅金融公庫30年史 本誌・別冊
- 鹿児島銀行より
鹿児島銀行百年史
- 鹿児島テレビ放送より
鹿児島テレビ10年史
- 会計検査院より
昭和53年度の決算と検査
- 鎌田元芳氏より
点 字
- 韓国文化院より
北朝鮮の肅清史 他2冊
- 関西大学より
関西大学通信 縮刷版 1~100号 他7冊
- 関西日蘭協力より
日蘭のかけ橋 1・2
- 関西学院より
学院史資料分類表
- 関東学院大学より
関東学院大学経済学部30年史 他1冊
- 花王石鹼より
年表・花王90年のあゆみ
- 川上宏二郎氏より
現代行政法概論
- 慶應義塾より
慶應義塾大学医学部年報 他1冊
- 恵泉女学園より
恵泉女学園五十年の歩み
- 経済企画庁より
年次経済報告 昭和55年度 他3冊

- 健康保険組合連合会より
社会保障年鑑 1980年版
- 建設省より
海岸統計 昭和54年度版
- 勤労者住宅協会より
世界の住宅事情
- 金融経済研究所より
物価史 第3巻 他1冊
- 北九州市教育文化事業団より
辻田遺跡 他6冊
- 北村憲一氏より
露伴全集 全43巻
- 神戸大学より
総合商社における海外進出企業の実態調査
- 神戸市外国語大学より
満洲文学考 他2冊
- 国民文化研究会より
續 いのちささげて
- 「公共性の構造と機能」研究組織より
「公共性」をめぐる諸問題
- 国立劇場より
国立劇場所蔵 芝居版画等図録 2
- 国立公文書館より
公文録目録 第三 明治7年～8年
- 国立国会図書館より
国立国会図書館三十年史 資料編 他8冊
- 国立国語研究所より
国立国語研究所年報 30 昭和53年度版
- 国立民族学博物館より
国立民族学博物館 国内資料調査委員調査報告集 1 他2冊
- 国立史料館より
史料館所蔵目録一覧 近世史料・郷土資料の部 他4冊
- 国際電信電話より
国際電信電話年報 昭和53年度
- 国際ピーアールより
石油経済学論文集
- 国税庁より
国税庁三十年史 他2冊
- 小森俊介氏より
日田地域経済産業ビジョン策定に関する調査報告書
- 甲南大学より
甲南大学所蔵社史経済団体史目録 他2冊
- 河野十重子氏より
城右学園四十八年史
- 厚生省より
国民健康保険事業年報 昭和53年度
- 公正取引委員会より
年次報告 昭和53年度
- 交通遺児育英会より
交通遺児育英会十年史
- 鋼材倶楽部より
鉄鋼二次製品年鑑 昭和54年版
- 熊本県より
熊本県の工業 昭和53年
- 熊本国税局より
熊本国税局統計書 昭和53年度
- 熊本商科大学より
アメリカ黒人問題 他4冊
- 久留米大学より
創立三十周年記念論文集 2部
- 教科書研究センターより
海外教科書制度調査報告書 他1冊
- 京都大学より
営業報告書目録 明治～昭和前期
- 京都府統計協会より
京都府統計書 昭和55年
- 京都女子大学より
第二次大隈内閣関係史料 他3冊
- 京都商工会議所より
京都府下におけるモデル貸金調査 他1冊
- 九州大学出版会より
文学のなかの人間像 他1冊
- 九州管区行政監察局より
行政監察三十年史 全7巻 他2冊
- 九州経済調査協会より
九州経済白書 昭和54年度
- 九州歴史資料館より
九州歴史資料館年報 昭和54年度 他5冊
- 九州産業大学より
金印ものがたり
- 九州石油より
操業15年史
- ライオン油脂より
ライオン油脂60年史
- マラッカ海峡協議会より
マラッカ・シンガポール海峡航路整備事業史
- 松木治三郎氏より
イエスと新約聖書との関係

- 松山商科大学より
人間と社会の諸問題
- 明治大学より
大陸型違憲審査制 他1冊
- 明治神宮より
大日本帝国憲法制定史
- 明善同窓会より
風雪百年 明善物語
- 三重県より
三重県勢要覧 昭和54年版
- 南亮三郎氏より
人口論五十年の後
- 南九州財務局より
経済統計年報 昭和54年版
- 三井広報委員会より
三井グループ '80
- 文部省より
国と地方の文教予算 昭和55年度 他8冊
- 村上寅次氏より
追想の青山道夫
- 武蔵大学より
十年のあゆみ
- 武蔵工業大学より
武蔵工業大学五十年史
- 長崎大学より
学園だより 縮刷版 No.2
- 名古屋大学より
高木家文書目録 卷三
- 中尾英俊氏より
更級郡誌 他11冊
- 中島顕治氏より
日本人材論
- 新潟大学より
新潟大学二十五年史 部局編
- 日本弁護士連合会より
弁護士業務ハンドブック 改訂版 2部
- 日本文化連合会より
猶太思想の研究
- 日本チェーンストア協会より
日本チェーンストア協会名鑑 1979年
- 日本大学より
日本大学の九十年 他1冊
- 日本船主責任相互保険組合より
日本船主責任相互保険組合30年史
- 日本学芸協会より
おりがみ細工の手引書 付 応用篇
- 日本学術振興会より
日本学術振興会事業の概要 昭和55年度
- 日本保育協会より
保育百問百答 感覚保育の理論と方法 他1冊
- 日本放送協会福岡放送局より
NHK年鑑 1980年版 他1冊
- 日本女子大学より
日本女子大学 成瀬文庫目録
- 日本キリスト教教育センターより
キリスト教教育の背景
- 日本興業銀行より
興銀(DF)業績調査 1部上場 昭和54年度版 他2冊
- 日本工業新聞社より
大学留学ハンドブック (アメリカ)
- 日本国有鉄道より
日本国有鉄道監査報告書 昭和54年度
- 日本教育心理学会より
教育心理学年報 19
- 日本生命より
日本生命九十年史
- 日本聖書協会より
共同訳聖書の固有名詞の日本語表記 旧約聖書
- 日本私立短期大学協会より
日本の私立短期大学 他1冊
- 日本消費者金融協会より
消費者金融白書 昭和55年版
- 日本証券経済研究所より
株式投資収益率 1979
- 西嶋幸右氏より
現代人の西洋史 他2冊
- 西村マサ氏より
西村旅館年譜
- 仁科美紀氏より
青春高原
- 農業総合研究所より
本間家土地文書 第5巻 他1冊
- 農林中央金庫より
「農林金融記事」目録 第2集
- 農林省より
果実生産費 昭和47年産 他3冊
- 帯広畜産大学より
帯広畜産大学畜産経営学科研究叢書 5

- 大橋 恒氏より
人間とは何か
- 大分大学より
豊後水道域
- 大分県より
大分県産業連関表 昭和50年
- 大蔵省北九州財務局より
北九州地方財政経済統計年報 昭和54年度版
- 大村市立史料館より
大村市立史料館所蔵史料目録
- 大阪大学より
毛利可信教授退官記念論文集
- 大阪府立中之島図書館より
大阪本屋仲間記録 5
- 大阪府立産業能率研究所より
大阪府立産業能率研究所年報 昭和54年度版 他1冊
- 大阪経済大学より
両大戦間における企業経営の総合的研究 他4冊
- 大阪市より
大阪市統計書 昭和54年版
- 大阪市立大学より
資本主義経済の基本モデル
- 大阪証券金融より
三十年小史
- 大阪証券取引所より
大阪証券取引所統計年報 昭和54年
- 大阪商工会議所より
大阪商工会議所図書館所蔵 大阪産業経済関係
文献目録 並びに大阪商工会議所刊行物目録
- 大坪憲三氏より
荒れる法廷 上・下
- OD問題の解決をめざす若手研究者団体連絡会より
オーバードクター問題の解決をめざして
- 立正大学より
立正大学図書館 田中啓爾文庫目録 第2巻
洋書の部
- 労働省より
雇用保険事業年報 昭和54年度
- 龍谷大学より
龍谷大学参考図書総合目録 昭和51年3月末現在
- 雑賀芳三氏より
労働委員会の実情と問題点
- 最高裁判所より
最高裁判所図書館 邦文法律雑誌記事索引 第22号
- 三康文化研究所より
三康文化研究所附属 三康図書館蔵書目録 漢籍篇
- 佐野捨一氏より
藻汐草 4~5
- 札幌商科大学より
札幌商科大学図書館蔵書目録 第1巻 和漢書
製粉振興会より
食事と人生 2部
- 政府資料等普及調査会より
社会意識に関する世論調査 昭和55年6月
- 生命保険文化センターより
生命保険に関する全国実態調査 昭和54年度 他2冊
- 生命保険経営学会より
生命保険 第9版
- 生命保険協会より
日本保険業史・会社編 上 他1冊
- 専修大学より
今村訴訟記録 第4巻
- 社会通信教育協会より
文部省認定社会通信教育改善に関する調査研究報告書
- 四国学院大学より
創立三十周年記念論文集 1980
- 新共同神学院同窓会より
説教集 第2巻
- 証券経済学会より
証券経済学会年報 15
- 証券投資信託協会より
証券投資信託年報 昭和54年版 2部
- 食糧庁より
異動人口調査結果表 昭和54米穀年度
- 創価大学より
研究業績一覧 第3集
- 創価学会より
仏法理解のための一問一答
- 総理府より
青少年問題に関する文献集 第10巻 他2冊
- 高木暢哉先生古稀記念論文集刊行委員会より
現代の貨幣・金融
- 高木誠一郎氏より
智と法義の哲学 改訂版 4部
- 高崎経済大学より
高崎の産業と経済の歴史
- 竹原良文氏より
体系 政治学 上・中・下

- 拓殖大学より
営業報告書収集目録
- 玉川大学より
玉川学園創立50年記念論文集 1
- 田辺康平氏より
田辺康平先生還歴記念 保険法学の諸問題 他1冊
- 田代義範氏より
現代産業社会論
- 天理教教会本部より
天理教年鑑 昭和55年 2部
- 藤楓協会より
藤楓文芸 12
- 東北大学より
東北大学所蔵和漢書古典分類目録
- 東邦生命より
東邦生命80年史
- 東海大学より
古田コレクション目録 第1集
- 東京外国語大学より
八十周年記念論文集 他2冊
- 東京学芸大学より
東京学芸大学増加図書目録 No.7 他1冊
- 東京海上火災より
創業100周年記念出版 蔵
- 東京理科大学より
東京理科大学報 縮刷版 No.1
- 東京証券取引所より
東京証券取引所資料集 統計編 他2冊
- 東京都老人総合研究所より
東京都老人総合研究所年報 7 他2冊
- 富盛伸夫氏より
スイス詩集
- 図書教材研究センターより
教材論
- 鶴川女子短期大学より
新しい幼稚園経営 その4
- 通商産業調査会より
財団法人通商産業調査会30年史 他1冊
- 和歌山大学より
新しい時代の企業像
- 早稲田大学より
稿本早稲田大学百年史 第3巻上 他5冊
- 八幡大学より
八幡大学史
- 山口稻生氏より
中国簿記の研究 2部
- 山村延昭氏より
西洋史研究 新輯 5~8
- 横田正雄氏より、
私の法律 3部
- 吉田工業より
善の循環
- 郵政省より
簡易保険、郵便年金の現況 昭和54年度
全国農業協同組合中央会より
協同組合奨励研究報告 第5・6輯
全国商品取引員協会連合会より
フランス商品取引関係法規集録
全国商品取引所連合会より
商品取引所年報 昭和54年度 他1冊
全私学新聞運営委員会より
私学時報 縮刷版 No.1 第1号~第119号

II. 洋書類

- 大学婦人協会より
IFUW Circum-Pacific Convention.
- 外務省より
The Japan of today.
- Hilfswerk der Evangelischen Kirchen der Schweiz より
Chaldean oracles and theurgy. 他12冊
- 井田雄平氏より
Bulletin of statistics on world trade in engineering products, 1976. 他6冊
- 石橋敏郎氏より
Giants of justice.
- 石川鉄弥氏より
Handbook of chemistry and physics. 他8冊
- イタリア文化会館より
Bibliografia di storia italiana moderna e contemporanea.
- 韓国文化院より
It's fun being young in Korea.
- 国際電信電話株式会社より
Japan's progress in international telecommunications.

神戸市外国語大学より

Raking up old letters.

黒瀬 保氏より

Goddess fortune in John Lydgate's works.

京都外国語大学より

Nipponalia supplement.

マラッカ海峡協議会より

Routes improvement activities in the
Malacca-Singapore straits.

松下電器株式会社より

The official record of time capsule Expo'70.

中島顕治氏より

Ernest Hemingway.

大手前女子大学アングロノルマン研究所より

Répertoire des livres et des manuscrits
microfilmés au Centre de Recherches Anglo-
Normandes.

Quaghebeur, Marc 氏より

Le portrait dans la littérature. 他59冊

佐藤 昭氏より

Holp world picture books. 全18冊

創価学会より

Letters of four seasons.

輸出繊維統計協会より

Textile exports of Japan, 1979